



これまでの思いをタスキに込めて ふくしま駅伝 田村市代表選手団決定

第35回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会(ふくしま駅伝)が、11月19日(日)に行われます。しらかわカタルスポーツパーク(白河市総合運動公園)陸上競技場を午前7時40分にスタートし、ゴールとなる福島県庁前まで96.3kmを16人の選手がタスキをつなぎます。昨大会は総合9位、市の部7位の5時間15分でゴールし、過去の田村市チームのタイムを大きく上回る結果となりました。今年もチーム一丸となってタスキをつなぎますので、皆さんの温かいご声援をよろしくお願いいたします。

田村市チームの情報はYoutubeをチェック!



本田 智幸 監督

現在のチームの軸となる中高生は伸びしろのある選手ばかりで、さらに力をつけるため練習に励んできました。白河から福島県庁までしっかりと田村市のタスキをつなぎ、市民の皆さんに少しでも勇気と元気を与えられたらと思います。田村市チームのために頑張りますので、応援よろしくお願いいたします。
Profile: 1974年生まれ。船引町出身。好きなスポーツ選手は高橋尚子。



志田 徹 主将(第34回大会・13区)

長年ふくしま駅伝に携わらせていただいておりますが、ここ数年は改めてスイッチを入れ直して練習に励んでいます。選手一人一人が走って汗がにじんだタスキをかけて走るという経験は貴重なことだと思います。勝つことにこだわりながらも、しっかりとタスキをつなぎ、走る達成感や喜びを伝えていきたいです。
Profile: 1984年生まれ。船引町出身。好きなスポーツ選手は為末大。



大東 樹矢 選手(第34回大会・7区)

昨年初めてふくしま駅伝を走らせていただき、楽しくタスキをつなげたので、とても良い経験ができました。今年は中学生生活の集大成として、タイムを意識して頑張ります。応援よろしくお願いいたします。
Profile: 2009年生まれ。船引中学校3年。好きなスポーツ選手は相澤晃。



箭内 美々 選手(第34回大会・11区)

昨大会では、あまり良い記録を出せず、悔しい思いをしました。今年は中学3年生としてチームをまとめていくことも意識して取り組んでいます。みんなで決めた目標を達成できるように頑張ります。
Profile: 2009年生まれ。船引中学校3年。好きなスポーツ選手は田中希実。

氏名	所属(学年)	氏名	所属(学年)	氏名	所属(学年)
団長 渡辺 弘	田村市陸上競技協会	選手 佐久間大貴	田村高校(2年)	選手 箭内さくら	船引中学校(1年)
監督 本田 智幸	福浜大一建設(株)	// 吉田 良佑	田村高校(2年)	// 下重 璃乃	船引中学校(1年)
コーチ 大東 勇樹	二本松NOK(株)	// 菅野 竜飛	田村高校(1年)	// 遠藤 朱莉	船引南中学校(1年)
// 佐久間正和	日本化学工業(株)	// 三輪 颯汰	田村高校(1年)	// 大東 樹矢	船引中学校(3年)
主将 志田 徹	船引郵便局	// 添田 倅斗	那須拓陽高校(1年)	// 佐久間 輝	船引中学校(3年)
選手 山口 悠樹	(株)デンソー福島	// 関根くるみ	安積黎明高校(1年)	// 小石澤 頼人	船引中学校(2年)
// 菊田あさ美	船引小学校	// 鈴木 英理	帝京安積高校(1年)	// 郡司 隆聖	船引中学校(2年)
// 渡邊 煉仁	田村高校(3年)	// 箭内 美々	船引中学校(3年)	// 添田 宏輝	船引中学校(2年)
// 郡司 珀翔	田村高校(3年)	// 白石 詩乃	船引中学校(2年)	// 丹治 丈瑠	常葉中学校(2年)
// 柳沼 大綺	田村高校(3年)	// 吉田 はな	船引中学校(2年)	// 三輪 奈槻	船引中学校(1年)
// 橋本 權知	学法石川高校(3年)	// 太田 一稀	滝根中学校(2年)	// 志田 知樹	船引中学校(1年)

田村市チームのナンバーカードは「10」です。

フラガールになる夢に向かって

挑戦者

あさか開成高校
フラ・タヒチアンダンス同好会

松本 来夢

Ramu Matsumoto

Challenger Vol.15で紹介した、松本来夢さんが所属するあさか開成高校フラ・タヒチアンダンス同好会は8月20日、いわき市で開催された、全国の高校生がフラ日本一を競う「第11回全国高等学校フラ競技大会フラガールズ甲子園」で、第9回大会(2019年)ぶりに最優秀賞を受賞しました。昨年の第10回大会では、総合4位と悔しい結果でしたが、引退した先輩方の気持ちを引き継ぎ、チーム一丸となって日本一に振り返りました。そして今、来夢さんは、幼い頃からの夢であったフラガールになるため、歩みを進めています。夢に向かって突き進む来夢さんが感じていることは一。



- 第11回フラ甲で最優秀賞を受賞した瞬間。(前列右から2人目が来夢さん)
- 共に目標を達成したチームのメンバーと。(前列中央が来夢さん)
- 大会翌日のエキシビション。憧れのハワイアンズのステージで。(前列右から2人目が来夢さん)

第10回大会で最優秀賞を逃し、悔しい思いをしたので「今年こそ最優秀賞」を目標に練習に励んできました。受賞が決まった瞬間はうれしかったです。大会までの道のりは、つらいことも数多くありましたが、OGの先輩方や保護者の方々の協力があり、仲間たちと本当の姉妹のように、お互いの気持ちや考えを言い合える関係性を築きました。この経験を通して、チームの気持ちを一つにし、同じ目標に向かって進んでいかなければ、良いステージを作れないということ学びました。

大会が終わって、小学生からの夢であるフラガールの試験を受験しました。残念ながら合格できませんでした。しかし、この経験があったからこそ、改めて「フラガールになりたい」という気持ちを強くしました。そして、フラガールを志すきっかけとなった憧れのステージで、「笑顔を届けられるダンサー」という夢に向かって、挑戦を続けたい。今の自分が足りないのかを分析し、弱点を克服して、立派なフラガールになれるよう、応援してください。周りの方々に恩返しできるように引き続き頑張ります。

Profile

2005年5月1日生まれ。船引中出身。156cm。高校1年時からあさか開成高校でフラ・タヒチアンダンスを始める。高校2年時、第10回フラガールズ甲子園で総合第4位(初代フラガール賞)を受賞。高校3年時、第11回フラガールズ甲子園で最優秀賞を受賞。憧れの人物は篠田愛純さん(フラガール)。座右の銘は礼節が人を作る。将来の夢はフラガール。

2年ぶりの最優秀賞

夢への挑戦

Challenger